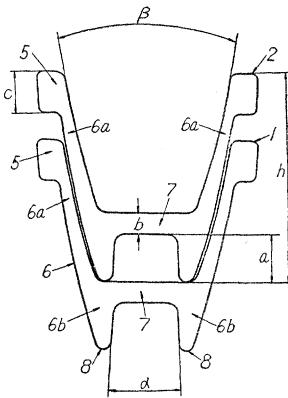


殊にリング状またはアーチ状の坑道支保用の互いに等しい溝形状の坑内支保成形材の組

特公 昭 36-53

発明者 ルドルフ・ザイツ, 外1名

端部を同じ向きに嵌め合わされその重合範囲において可縮的に互いに緊定されていて、フランジに向かって拡開するウェブが底部分によって結合されている形式のリング状またはアーチ状の坑道支保用の互いに等しい溝形状の坑内支保成形材の改良であって、成形材(1)、(2)の底部分(7)がその厚さ(b)よりは大きい成形材の高さ(h)の半分以下の距離(a)をもってウェブ(b)のフランジ(5)とは逆の側の下方縁部(8)の上方に配置されているようにしたものである。このように成形材を形成したことによって重心はフランジに向かって上方に移動し従来のものにくらべていちじるしく軽量にすることができ、またフランジ部分の質量の減少は成形材の弯曲および相対的滑り移動のさいに生ずる拡開力を減少させることができる。

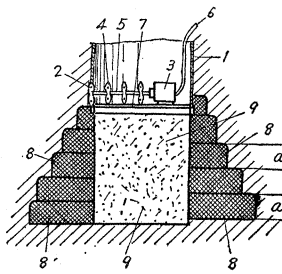


柱礎の構築施工方法

特公 昭 36-574

発明者 長塚 真

地表面下に柱礎用井戸棒(1)を圧入し、井戸棒(1)の下端部に開設した孔(2)からソイル コンクリート ミキサ用かくはん機(3)の中空回転軸(5) (これを通じてセメント パーストなどの凝固剤を地中に噴出させる)を地中側方に突出する位置から井戸棒(1)の径方向に進退引込自由にする。井戸棒を低速度で回転させ、同時に上方へ引上げ、さらにそれと同時にかくはん機(3)をガイド(7)上に沿って定速度で引込めていく。このようにしてソイル コンクリートの注入作業を続けていくとほぼ円錐形螺



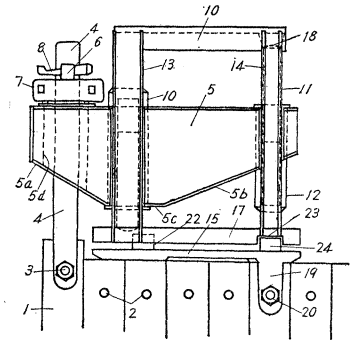
旋状のソイル コンクリート 充填ベル部分(8)が構築される。またベルの部分(8)の中心部にあたる立坑部分(9)は井戸棒の引き上げられるつどガイド(7)の側方空けきを経て通常のコンクリートを投入し、ベルの部分のソイルコンクリートと連続的の一体にコンクリートを充填凝結させてコンクリート柱礎の構築を完了する。

シートパイル引抜機

特公 昭 36-582

発明者 中村 正信, 外1名

一側において矢板と連結(20)できる脚部19を有する底板(15)に対して少しばかり旋回可能に装着した案内柱(13)(14)にビーム(5)を嵌合支持させ、ビームの基部に底板(15)を押す主ラムを設けた主シリンダー(10)を取りつけ、ビームの一侧に案内柱の橋絡部(18)を押す補助ラム(11)を設けた補助シリンダー(12)を取りつけビームの他側にチャック(7)を載置して矢板(1)に連結(3)した引抜板(4)もしくは矢板を纏絡するようにし、主シリンダー(10)と補助シリンダー(12)を油圧によって複動式に連動せしめ、両シリンダーの油通路にそれぞれ調整弁を設けて抵抗を調整し、引抜力を加減できるようにしたもので、矢板上に機械を設置し矢板の中心線上をじくじく転向しながら後退し、2個の油圧ラムの合成推力により、てこ式に引抜するようになったものである。



道路築造方法

特公 昭 36-584

発明者 山手 清三

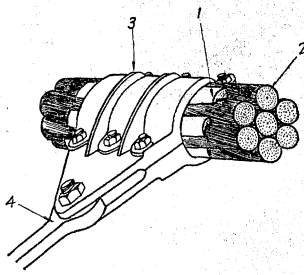
マカダム式碎石道築造方法の改良に関するもので、展圧仕上を施した路盤上にコロイド状沈降炭酸カルシウム(1 cm<sup>3</sup>につき 200 目のフルイを完全に通過する微粉)と粘土、火山灰、などの微粉に水を加えて混合した泥状物を適当の厚さに敷き、その上に適当な大きさの碎石を数段に敷設し、これを展圧した後、前記泥状物を適当厚さに敷き、その上に上層碎石層を施し展圧するものであって、炭酸カルシウムの微粉末を使用することによって、碎石相互の噛合を阻害せず空けきを十分に充填でき、また炭酸ガスを含有する地下水と作用して部分的に長年月の間に化学変化によって結合力を生じ、破壊しても再び旧に復することができる。

## 吊橋ケーブル懸吊用滑り止金具

特公 昭 36-586

発明者 川田 忠雄

吊橋ケーブルから吊材を懸吊するために使用する吊材取付金具の改良であって、主ケーブル(2)と吊材取付金具(3)との間に主ケーブルの股のねじれに沿って、この股の数だけの素線を集合して形成した滑り止金具を介在させ緊縮したもので、主ケーブルと取付金具との間の谷間に嵌合するように自らの形を変えることができ、ケーブルと各股の素線とが組み合せて、主ケーブルと取付金具の滑動が防止できる。



## 硫酸塩パルプ廃液処理法

特公 昭 36-592

発明者 川崎 薫

硫酸塩パルプ廃液を電気化学的に浄化する処理法に関するものである。塩化ナトリウム溶液(海水あるいは食塩水)を混ぜさせた硫酸塩パルプ廃液を、その移送流の底部において陰陽両極を亜鉛で形成した電極によって電解操作を行ない、この電解操作によって生成された塩化亜鉛で廃液中に含有している浮遊物質をフロック化し発生する水素ガス気泡の浮上によりフロック液面近くを上昇搬送し除去するようにしたものである。

## 貨車入換における組成線としての行列型配線

特公 昭 36-951

発明者 原田 実

貨車操車場配線の改良に関するもので、一本の通過路線と各有効長をもつ短線路とを貨車がいずれの短線路の区間へも任意に独立して入線できるようにポイントを紹介して直列並列の格子状に結線して貨車入換組成線を構成し、各短線路の末端には起伏自在のストッパーを設けたものである。この配線によれば、ただ一回の散転で所定の線順列を作ることができるから作業時分をいちじるしく短縮でき、引上線、すえつけ線を必要としないので線路延長を比較的短縮できる。

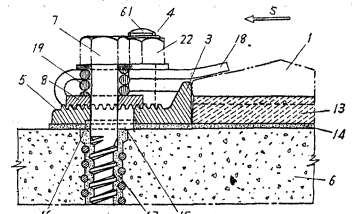
## タイプレート取付装置

特公 昭 36-953

発明者 清水 惣一郎

コンクリート製受体上の鉄道用レールを軌間調節ができるようにして取付ける装置の改良であって、両側にレール(1)とほぼ直交する方向にのびる長孔とレール締結具(4)を有するタイプレート(5)をコンクリート製受体

(6)上におき、その受体(6)の下部を埋込んだ固定ボルト(7)をタイプレートの長孔およびゲージブロック(8)のボルト孔



に挿通し、さらにタイプレート(5)とゲージブロック(8)の対向する面には、レール(1)とほぼ直交する方向に間隔を置いて複数の係合歯を配置し、これらの係合歯を互にかみ合わせた状態で固定ボルト(7)を締付けてタイプレートを受体上に軌間調節できるようにしたもので、軌間調節には、固定ボルト(7)を少しゆるめ、次にゲージブロックとタイプレートのかみ合わせを一山またはそれ以上ずらした後、ボルト(7)を締めて再固定すればよい。

## 圧気潜函の沈設工法

特公 昭 36-975

発明者 清水 辰一

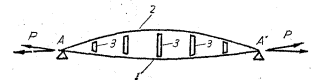
従来圧気漏洩を防止する方法として、切端歯に粘土を張りつけることなどが行なわれていたが、この作業は潜函内に粘土を持ち込むこと、粘土の調達、粘土をねり張つけることはきわめて困難であり、また一たん張りつけた箇所がなんらかの事故で破れ地下水が浸入すれば他の部分も脱落するという欠点があった。この発明はこれらの欠点を除去したもので、圧気潜函内部の刃先部より下方をビニール布のような不透気性にしたわみ曲性および可撓性に富む遮幕によって切端中央部を残して張りめぐらし、圧気の漏洩通路を遮断し、遮幕の張ってない底端部を掘削して潜函を降下沈設するようにしたものである。

## プレストレストコンクリート結構の製造方法

特公 昭 36-979

発明者 坂 静雄

P、C鋼線よりなる二群の緊張材(1)、(2)を平行に緊張しその両端A、A'を抑えて固定しその間に両緊張材を上下に押し開くように既製鉄筋コンクリートブロックからなる拡開材(3)……を挿入するか、あるいは、あらかじめ拡開材を配置



し、その上下に緊張材(1)、(2)をかけた端部A、A'を締めつけ、両緊張材(1)(2)に所要の緊張力Pを与え、緊張材のまわりにコンクリートを打設しその硬化を待って緊張力を解放しプレストレストコンクリートのトラスあるいはフィレンデール結構を製造する方法である。

(特許庁審査二部 荒木 達夫)

# コンクリートを接着する クリートボンド工法

クリートボンドはエポキシ樹脂を基材とした新しいコンクリート接着材で、接着力が強力で硬化時間が短かいのでコンクリートやモルタルの補修に最適です。

## 亀裂・欠損部分の充填に

### クリートボンド#1

を砂等の骨材と混合して、道路、プールコンクリート壁のクラック、角の欠損部等に充填すれば完全に接着して硬化後の強度も大きく、ハク離の心配は全くありません。

## 新・旧コンクリートの打継ぎに

既設のコンクリート面に新しいコンクリート又はモルタルを打継ぐ際、接着面にクリートボンド#3を塗布しておけば、新旧のコンクリートは完全に接着します。

## 固型物の接着に

コンクリートと石材、金属、木材又は固型コンクリート相互の接着にはクリートボンド#2が従来の接着剤に見られぬ驚異的な接着力を発揮します。

## 実地テスト済み

東京工大、関東地建、運輸省航空局等に於けるテストピースによる強度耐験の外、羽田空港、東京国道工事々務所、東京都道路課、在日米空軍、米海軍でも使用され優秀性を認められて居ります。

# エキスパン・シール

## 加熱注入型 道路目地材

エキスパンシールはアスファルト、合成ゴム、合成樹脂を主原料として造られた理想的な加熱注入型目地充填材です。滑走路等石油系溶剤がこぼれる場所には新しい耐油性目地材「ジェットシール」冷工式耐油性目地材「ジェットシール・コールド」があります。目地材には弾力性の優れた繊維質目地材「テックスタイト」をお奨めします。

- 耐油性が優秀
- アスファルト表面の劣化を防止
- 冷工式・施工容易

ジェットシール「タールペースト」はタール、合成ゴム、樹脂等を基材としたアスファルト舗装の耐油性保護シールユースティング材です。

# ジェットシールタールペースト



詳しい説明資料を  
差し上げます。  
紙名記入の上右記  
へご請求下さい。

(株) **A B C 商会**

東京都千代田区永田町2-77 TEL (581) 代表141100

大阪出張所・大阪市西区京町堀通1-18  
TEL (44) 3915-0500  
札幌出張所・札幌市北二条東二丁目浜輝ビル  
TEL (3) 8261-8061  
仙台出張所・仙台市名掛丁5-6日吉ビル  
TEL (22) 2-288  
名古屋営業所・名古屋市中区南久理町3-12  
TEL (24) 5-563